

主要製品売上高

(単位 百万円)

品目名 有効成分・剤形	薬効分類	平成20年3月期		平成21年3月期	
		中間実績	通期実績	第2四半期 累計実績	通期見込
医療用医薬品		47,886 (1.8)	95,322 (3.8)	48,606 (1.5)	96,172 (0.9)
クラビット点眼液 レボフロキサシン点眼液	合成抗菌点眼剤	6,868 ( 5.0)	12,864 ( 2.2)	7,008 (2.0)	11,888 ( 7.6)
タリビッド点眼液 オフロキサシン点眼液	合成抗菌点眼剤	1,828 ( 10.2)	3,139 ( 10.9)	1,451 ( 20.6)	2,619 ( 16.6)
チモプトル点眼液 チモロールマレイン酸塩点眼液	緑内障治療剤	1,877 ( 4.9)	3,574 ( 6.3)	1,741 ( 7.3)	3,163 ( 11.5)
チモプトルXE点眼液 チモロールマレイン酸塩持続性点眼液	緑内障治療剤	1,747 (8.2)	3,432 (5.3)	1,822 (4.3)	3,606 (5.1)
デタントール点眼液 ブナゾシン塩酸塩点眼液	緑内障治療剤	1,194 (3.1)	2,337 (2.1)	1,182 ( 1.1)	2,337 (0.0)
レスキュラ点眼液 イソプロピル ウロプロストン点眼液	緑内障治療剤	2,529 ( 2.4)	4,880 ( 4.8)	2,308 ( 8.7)	4,461 ( 8.6)
リボスチン点眼液 レボカバステチン塩酸塩点眼液	抗アレルギー 点眼剤	1,472 ( 11.1)	4,341 (0.8)	1,390 ( 5.5)	3,766 ( 13.2)
ヒアレイン点眼液 ヒアルロン酸ナトリウム点眼液	角膜疾患治療剤	9,640 (6.8)	19,521 (9.1)	10,539 (9.3)	20,536 (5.2)
フルメトロン点眼液 フルオロメトロン点眼液	抗炎症点眼剤	2,390 ( 3.1)	4,821 ( 0.7)	2,303 ( 3.6)	4,606 ( 4.4)
カリーユニ点眼液 ピレノキシン点眼液	初期老人性 白内障治療剤	1,878 (6.7)	3,652 (5.4)	1,852 ( 1.4)	3,707 (1.5)
パピロックミニ点眼液 シクロスポリン点眼液	春季カタル治療剤	78 (22.2)	153 (26.6)	242 (210.5)	1,937 (1,166.1)
オベガンハイ眼粘弾剤 ヒアルロン酸ナトリウム眼科手術補助剤	眼科手術補助剤	1,632 (14.9)	3,204 (12.9)	1,634 (0.2)	3,221 (0.5)
ピーエスエスプラス眼灌流液 オキシグルタチオン眼灌流・洗浄液	眼灌流・洗浄液	649 ( 1.4)	1,267 ( 0.8)	638 ( 1.7)	1,196 ( 5.6)
リマチル錠 ブシラミン錠	抗リウマチ剤	2,460 ( 5.7)	4,767 ( 3.0)	2,339 ( 4.9)	4,633 ( 2.8)
アザルフィジンEN錠 サラゾスルファピリジン腸溶錠	抗リウマチ剤	2,087 (6.6)	4,121 (6.0)	2,150 (3.0)	4,254 (3.2)
一般用医薬品		2,804 (1.7)	5,451 (2.7)	2,722 ( 2.9)	5,615 (3.0)

下段：対前期伸長率(%)

上記の予想等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。

医薬品開発状況一覧表(臨床段階)

一般名	製品名/コード番号	効能・効果	自社/導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
レボフロキサシン(0.5%)	クラビット クイクシン オフトクイクス	外眼部感染症	第一三共	日本						2000年4月
				米国						2000年11月
				欧州						2002年5月
レボフロキサシン(1.5%)	DE-108	外眼部感染症	第一三共	日本						
特長:ニューキノロン系抗菌薬。耐性制御を目的とした高濃度製剤。 レボフロキサシン+ブレドニゾンA DE-094 感染による角膜炎 第一三共 米国										
特長:ニューキノロン系抗菌薬のレボフロキサシンとステロイドの合剤。										

一般名	コード番号	効能・効果	自社/導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
タフルプロスト	DE-085	緑内障・高眼圧症	旭硝子と共同	日本						2008年10月
				欧州						2008年6月
				米国						
				アジア*						2007年11月
特長:プロスタグランジン系緑内障・高眼圧症治療剤。2008年10月、国内での製造販売承認取得。欧州においては、2008年4月にデンマークにて欧州最初の承認を取得。その後、2008年6月ドイツにて発売。米国においては、今後事業化の検討を踏まえた上で、申請するかどうかを判断する。韓国にて2007年11月販売承認申請、中国にてフェーズ3実施中。(*:日本を除く)										

一般名	コード番号	効能・効果	自社/導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ジクアホソルナトリウム	DE-089	角結膜上皮障害 (ドライアイを含む)	インスパイア社	日本						2008年5月
特長:角結膜上皮から涙液構成成分や水分の分泌を促す、主にドライアイに伴う角結膜上皮障害治療剤。既存薬との併用が可能。フェーズ3比較試験で所期の目的を達成でき、製造販売承認を申請。										

一般名	コード番号	効能・効果	自社/導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
オルメサルタン	DE-092	緑内障・高眼圧症	第一三共	日本 欧米						パイロット試験
特長:アンジオテンシン 受容体拮抗剤。日本および欧米でのフェーズ2において、用量依存性が確認できなかったため、臨床試験の一時中断を決定。現在変更した製剤でのフェーズ2パイロット試験を実施中。										

一般名	コード番号	効能・効果	自社/導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
塩酸ロメリジン	DE-090	緑内障	シェリング・プラウ	日本						
特長:視野欠損の進行抑制作用を有する新しい緑内障治療剤。カルシウム拮抗作用に基づく経口緑内障薬としては、唯一の開発薬剤。NMDA受容体拮抗剤と異なり、全身性の副作用が軽微であり、高い安全性を有する。シェリング・プラウにより片頭痛治療剤として上市済。										

一般名	コード番号	効能・効果	自社/導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
リボグリタゾン	DE-101	角結膜上皮障害 (ドライアイを含む)	第一三共	米国 日本						
特長:主にドライアイに伴う角結膜上皮障害に対する改善効果が期待できる。現在発売および開発中の薬剤と異なる作用機序を有し、角結膜上皮細胞に直接働きかける点眼薬。第一三共が経口糖尿病治療剤として、米国で臨床試験中。										

一般名	コード番号	効能・効果	自社/導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
未定	DE-102	糖尿病黄斑浮腫	米オークウッド社と共同	日本						(フェーズ1/2a)
特長:ドラッグデリバリーシステムの概念を取り入れた、ステロイドマイクロスフェア製剤。研究段階では眼局所への投与で、長く安定した薬効持続性が確認できている。商業用スケールでの製造技術開発で米国オークウッド社と提携。										

一般名	コード番号	効能・効果	自社/導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
未定	DE-103	アレルギー性結膜炎	小野薬品工業	日本						
特長:従来のアレルギー性結膜炎治療剤と異なる作用機序を持つ、ホスホジエステラーゼ4(PDE4)阻害剤。炎症性細胞の活性化に関与するPDE4を阻害することで、アレルギー性結膜炎に対し優れた改善効果を示すことが期待できる。										

一般名	コード番号	効能・効果	自社/導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
未定	DE-104	緑内障・高眼圧症	宇部興産と共同	米国 日本						
特長:宇部興産との共同研究で見出したROCK阻害活性を有する緑内障・高眼圧症治療剤で、既存の薬剤と異なる作用機序を持つ。線維柱帯細胞に直接作用し房水流出を促進すると考えられ、強力な眼圧下降作用が期待される。										

一般名	コード番号	効能・効果	自社/導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
未定	DE-105	遷延性角膜上皮欠損	自社	米国						
特長:既存療法では難治性の遷延性角膜上皮欠損に対し、角膜上皮細胞進展促進作用により、角膜上皮欠損を修復する効果と、高い安全性が期待される。										

上記の予想等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。

医薬品開発状況一覧表 (臨床準備中 一部抜粋)

一般名	製品名	効能・効果	自社 / 導入等
ブシラミン	リマチル	変形性関節症	自社

特長: OAによる関節炎症への効果を確認。

一般名	コード番号	効能・効果	自社 / 導入等
シロリムス	DE-109	滲出型加齢黄斑変性 糖尿病黄斑浮腫	マキュサイト社

特長: 免疫抑制作用、血管新生抑制作用などを有する結膜下注射および硝子体内注射剤。マキュサイト社が実施した滲出型加齢黄斑変性及び糖尿病黄斑浮腫患者を対象とした米国でのフェーズ1試験において、網膜の形態的改善を伴う視力改善を示す症例が認められている。日本を含むアジアでの眼科疾患を対象とした開発および販売実施権をマキュサイト社より取得。

他社への開発導出品 状況一覧

一般名 / コード番号	効能・効果	導出先	開発ステージ	導入元
未定 / DE-098(抗APO-1抗体)	関節リウマチ	Argenes	フェーズ1 / 2a	セントコア社

特長: RA患者の罹病関節内でアポトーシスを誘導する関節注入剤。実生産規模での原薬製造法工程を確立。当社がセントコア社から導入した、抗APO-1抗体の国内開発権をArgenesに許諾。日本および欧州にて治験実施中。国内販売権および海外開発販売権は当社が保有。

2008年第1四半期(2008年8月4日)発表時からの変更点

【進階】

コード番号	効能・効果	開発ステージ	実施地域
DE-108	外眼部感染症	フェーズ1	日本
DE-085	緑内障・高眼圧症	申請 承認	日本
		申請	アジア*
		発売	欧州**

\*: 韓国:販売申請、中国:フェーズ3

\*\* : ドイツ、デンマークにて上市 (下線国が前回から追加)

上記の予想等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。

### 設備投資

(単位 百万円)

	平成20年3月期		平成21年3月期	
	中間実績	通期実績	第2四半期 累計実績	通期見込
設備投資額	1,764	2,758	1,005	2,380

### 減価償却費

(単位 百万円)

	平成20年3月期		平成21年3月期	
	中間実績	通期実績	第2四半期 累計実績	通期見込
総額	1,631	3,353	1,645	3,700
製造経費	789	1,635	898	2,010
販売管理費	334	626	323	590
研究開発費	507	1,091	423	1,100

(注)長期前払費用および営業権の償却費は除いています。

### リース料

(単位 百万円)

	平成20年3月期		平成21年3月期	
	中間実績	通期実績	第2四半期 累計実績	通期見込
総額	525	1,042	485	950
製造経費	465	925	431	830

### 研究開発費

(単位 百万円)

	平成20年3月期		平成21年3月期	
	中間実績	通期実績	第2四半期 累計実績	通期見込
研究開発費	6,355	12,941	11,832	19,400
対売上高比	12.2%	12.5%	22.7%	18.7%

上記の予想等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。